

「伝統文化・人形浄瑠璃を通じた福島県への心の復興事業」報告

《事業趣旨》 放射能被害により、いまだ復興が難しく多くの不安を抱え生活をする方々が多くいる福島県において、子どもたちや避難者の方々に対する心のケア、地域コミュニティの再生、地域活性化の一助となることを目的に、伝統文化である人形浄瑠璃体験を通し、異年齢の子どもたちや地域住民の方々のコミュニケーション力を高め、豊かな想像力や生きがいを育む文化的支援を行う。人や物などの地域資源を大いに生かすことによって、地域ごとの特色ある事業を地元の方々の力で創りあげ、世代間交流も視野に入れた活気ある街づくりを応援する。

《実施内容》 子どもから大人まで参加できる、伝統人形芝居の文化体験（人形浄瑠璃ワークショップ）を実施する。特に、子どもたちの参加を促すアプローチを積極的に行い、地元の方々に向けての発表会の機会などを作ることで、世代間交流や仮設住宅利用者とその他の地域住民が交流できる場を提供し、地域コミュニティの強化を図る。学校や公民館等で取り組む長期的な体験交流の場を2カ所、仮設住宅等で取り組む短期的な体験交流の場を6カ所程度とし、より多くの地域の方々が参加できる取り組みとする。【復興庁 平成28年度「心の復興」事業委託事業】

【人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』①】（9～10月実施分報告）

- 1) 日程 平成28年9月28日（水）～10月2日（日）
- 2) 場所 長期的な体験交流として、川俣町では高校生以上を対象に、福島市では小学生以上を対象とした人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』の第一回目を実施。
その他、短期的な体験交流として、川俣町1カ所、福島市内の小学校5カ所、二本松市で開催した遊びのイベントの中でワークショップを実施した。
- 3) 参加劇団 八王子車人形西川古柳座（1名）、さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座（7名）
- 4) 主催 やまびこ座・こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクト
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
- 5) 共催 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館、hand to hand project kawamata
- 6) 実施記録

①短期体験

月/日（曜）	時間	会場	内容	参加者数
9/28（水）	13:50	三河台小学校 福島市三河南町 17-7	6年生対象／解説および三人遣い体験ワークショップ	75名 （子75）
9/29（木）	10:05	東湯野小学校 福島市飯坂町東湯野字尻明 1	全校生対象／解説および三人遣い体験ワークショップ	20名 （子20）
	11:20	渡利小学校 福島市渡利字八幡町 120	5・6年生対象／解説および三人遣い体験ワークショップ	160名 （子160）
	12:55	荒井小学校 福島市荒井北3丁目 7-4	3～6年生対象／解説および三人遣い体験ワークショップ	140名 （子140）
	13:35	第二小学校 福島市浜田町 2-1	全校生対象／解説および三人遣い体験ワークショップ	254名 （子254）
9/30（金）	10:20	蔵カフェ「絹蔵」 伊達郡川俣町字鉄炮町 16-1	解説および三人遣い体験ワークショップ	17名 （子1、大人16）
10/2（日）	13:00	二本松市市民交流センター 二本松市本町 2丁目 3-1	解説および三人遣い体験ワークショップ	22名

②長期体験／人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
9/29(木)	19:00	川俣町中央公民館	『ふれアート』inかわまた 1回目	8名 (大人8)
9/30(金)	19:00	伊達郡川俣町字樋ノ口11番地	『ふれアート』inかわまた 2回目	6名 (大人6)
10/1(土)	10:00	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ 福島市早稲町1番1号	『ふれアート』inふくしま 1回目	9名 (子9)

7) 写真で見る公演及び調査記録

①三河台小学校



➤6年生を対象としたワークショップを実施。人形遣い体験ではみんな積極的に手をあげ参加してくれた。

②東湯野小学校



➤全校生徒20名を対象に実施。一つの教室に全校生徒、先生が集まりアットホームで楽しい時間となった。

③渡利小学校



➤5・6年生を対象に体育館で実施。とても興味深く聞いてくれる生徒が多かった。最後には三番叟も上演することができて人形浄瑠璃に興味をもってもらうことができた。

④荒井小学校



➤3年生～6年生を対象として実施。広い体育館であったがみんな集中して話を聞いてくれた。先生も一緒に雰囲気盛りあげてくれ、生徒たちもより興味を深めてくれたようであった。

⑤第二小学校



➤全校生徒に向けて実施。たくさん的人数ではあったが、人形にふれてみたい生徒は積極的に参加してくれた。
➤終了後に校長先生と話す機会があった。そこで、福島の校長会で福島第一原発に行ってきたというお話を聞くことができ、様々な問題もお伺いした。私たちが福島を訪れ、そこで見て感じたことなど福島のいまを伝えていくことも大切な役割の一つであると感じた。

⑥蔵カフェ「絹蔵」



➤川俣町にあるカフェで、地域の方々の憩いの場となっている。カフェスペースの他、町民ギャラリーや地元の野菜や特産品紹介コーナーなどがある。この日ギャラリーでは絵手紙展を開催中。「東日本大震災から5年」をテーマにした絵手紙は、激しい感情を表現するものは少なく、日常の中にある小さな心のしこりや葛藤を描いたものが多く、町民の方のリアルな言葉に悲しくやりきれない思いがする。
➤ワークショップはギャラリーの一角をお借りして実施。とても近い距離感で観ていただくことができたこと、地元の男性陣が積極的に参加してくれたことで大変盛り上がり和やかな雰囲気となった。

人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』inかわまた

①9/29 (木) <1回目>



- 「昨年度参加して楽しかった」という理由で、今年度も継続して参加してくれた方もおり大変喜ばしく感じた。
- 基本的な操作方法のレクチャーの後は、足遣いの稽古から開始。昨年度からの継続参加の方たちは、早速人形を持ち、少しずつ思い出しながらの稽古となった。

②9/30 (金) <2回目>



- この日は屋外にある仮設会議室を会場にワークショップを実施。東日本大震災により川俣町役場庁舎が被災し、役場機能の一部を中央公民館に移転し運営していることにより、本来公民館で利用しているいくつかの部屋が利用できなくなっている。それを補うために野外にいくつかの仮設会議室が設置されている。
- 2日目も基本的な人形の操作方法のおさらいをした。次回からはお芝居の稽古に入る予定。参加者に楽しんでもらいながら、地域の活性化にもつながるような取り組みに展開していきたいと思う。

人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』inふくしま

①10/1 (土) <1回目>



- 昨年度から継続して参加してくれた子どもたちに加え、事前に小学校で実施した短期体験ワークショップに参加した子どもたちからも申込があった。気軽に多くの方が参加できるように、また活動を広く周知するためにと実施した短期体験ワークショップの効果が得られた。
- 基本的な操作方法の練習の後は、早速発表会で上演する予定の「二人三番叟」「日高川入相花王 渡し場の段」「立ち回り」や、鳴物などにも挑戦。継続参加の子どもたちが多いこともあるが、みんな吸収が早く今から発表会が楽しみである。